



「人妻の色気ヤバッ…
止まんね」

泥酔 兄弟嫁に

我慢できず何度も

中出し

続け…

1

桐生真澄

Presented by masumi kiryu





数時間前

302

牙木

ふーん…♪

ふん♪ふん♪

—春新生活でにぎわう
季節 俺は大学生生活を
スタートする為に
上京した

だけど上京するにあたって
新居とお金の問題はつきもの
そんな中で手を差し延べて
くれたのは

あっ

はいっ

はい

わっ
いらっしやいっ

同じく上京して家庭をもつ
兄貴とその奥さんだった

拓海君♡

こんにちはっ

涼香さん

久しぶりっす

すみません
遅くなって…

待ってたわあっ
さっどうぞっ

おじゃましまーす

えっ？

何コレ!?

ようこそ
拓海君
観迎

今日から一緒に住む
ってことで歓迎会を
しようかと思って!!



——ふうん？明日から
1カ月の長期出張

はい…

元々やってた
プロジェクトが
波にのって
正人が責任者に

その通りです

今でも帰り遅くて
新婚さんって感じ
無いのに1ヶ月も
家に不在と…

はい…

そうやってかわいい嫁を
放置しちゃうってわけね

…

…

これ…俺の歓迎会じゃ
なかったのか…

もっと私にも
かまってよおっ

キーなんだよおっ
出張つてえっ

拓海…
あと任せるわ

あー…明日
早いから

こらあつ
逃げるな正人

兄貴!?



何よおっ

何言ってんですか…
酔いすぎですよ



私ってえ…正人にとってはあ…もう魅力無いかも…?



ん…う…かもお…?



テキトーに返すのやあ〜

お酒のせいじゃないですかね…



涼香さん
無防備すぎっ



?

拓海君?

どしたのお?



ん……ふあい……

起きて……
よお……？

いやいや：
もう寝かぶってる
じゃんっ



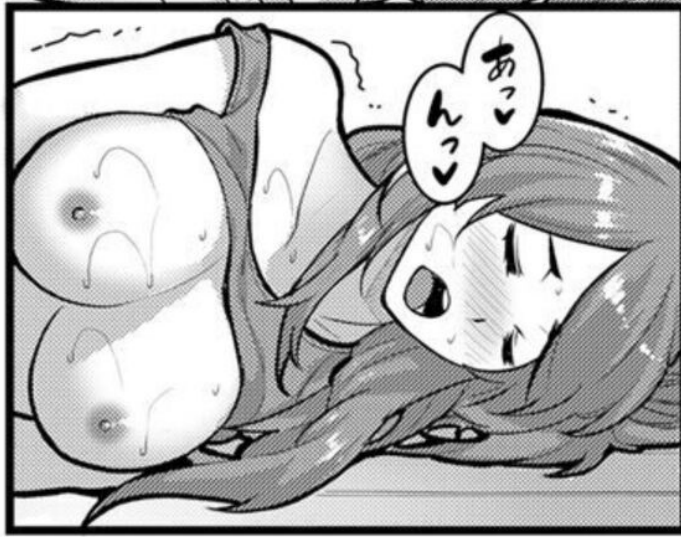
こんなカッコして……
魅力無いとか……
ないわ……

あつ…♡

んっ
…

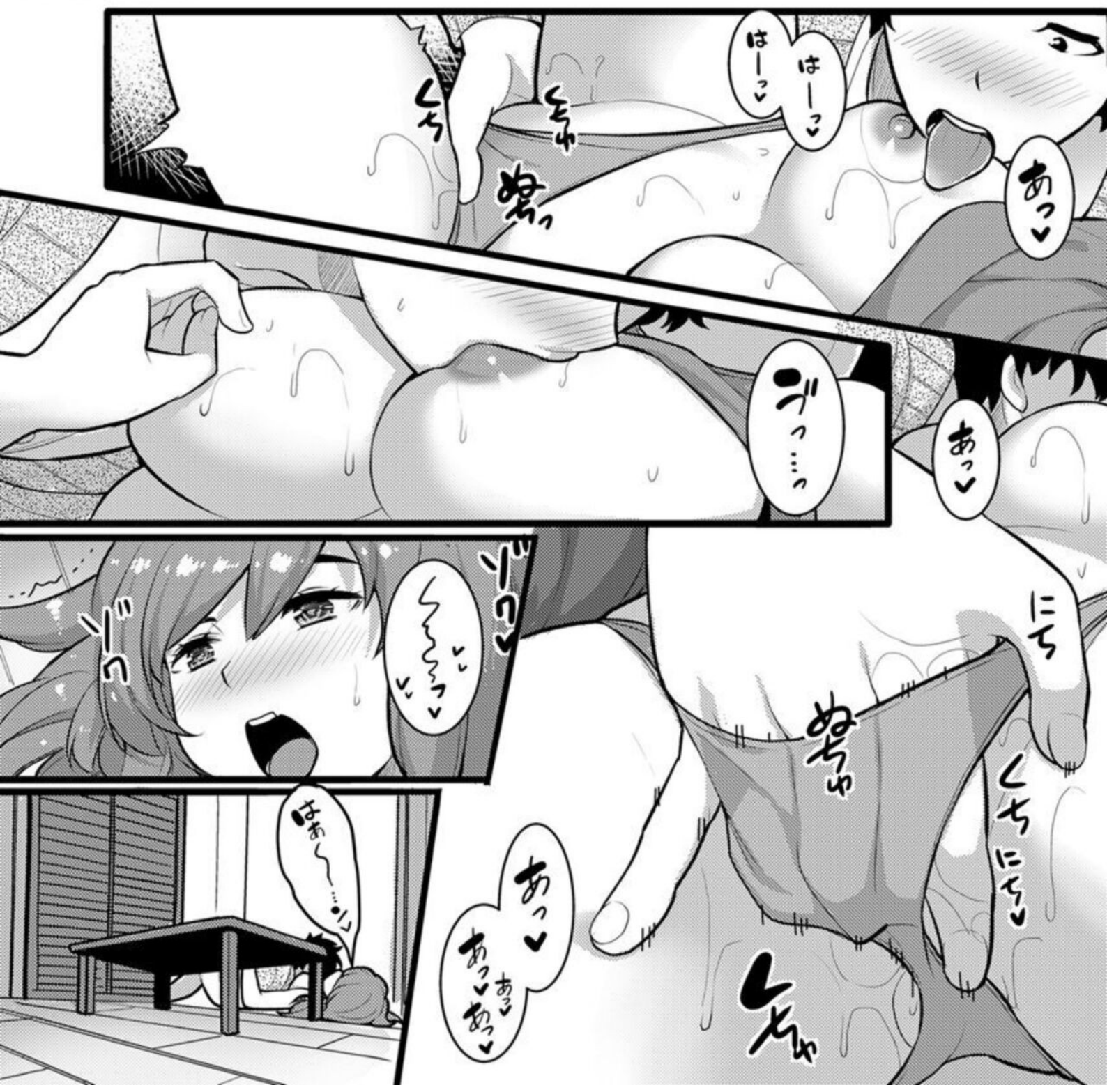
ちよつとくらい
イタズラしても





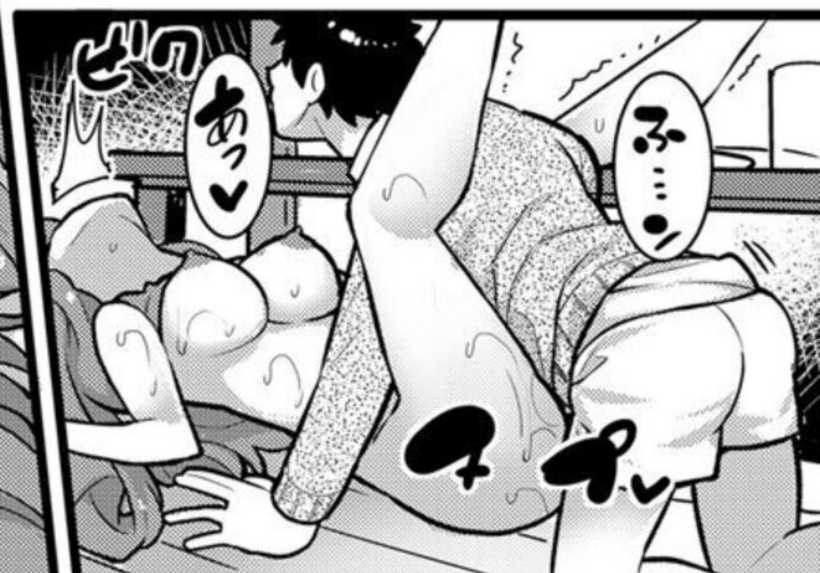
—気持ち—
あれ…?

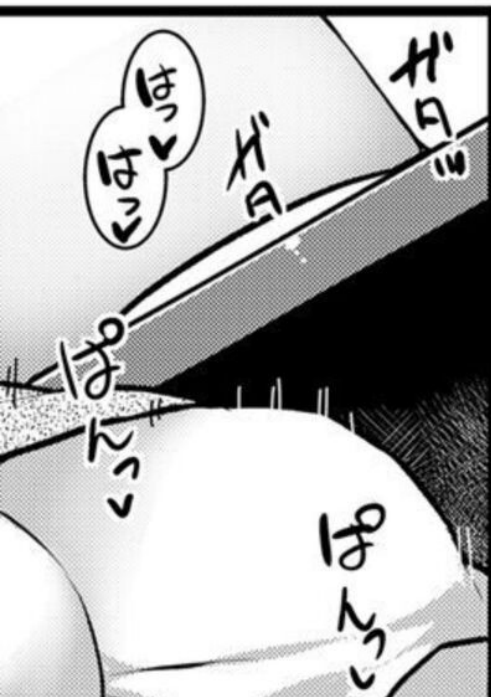
でも何で
拓海君の顔
近…





















「人妻の色気やバツ…
止まんね」

泥酔
我慢できず何度も
兄弟嫁に中出し
続け…



にすりクラブ

「人妻の色気ヤバッ…止まんね」
泥酔兄嫁に我慢できず何度も中で出し続け…

(1)

著者 桐生真澄

発行 FILL-IN

この物語はフィクションです。登場する人物・事件・団体・名称等は架空であり、実在のものとは一切関係ありません。

収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、発売当時のまま掲載しています。

本作品の一部あるいは全部を無断で複製・転載・配信・送信・放送・譲渡またはアップローダーサイトに掲載する事を禁止します。

本作品の使用につきましては、あらかじめ弊社宛に許諾をお求め下さい。



「人妻の色気ヤバッ…
止まんね」

泥酔 兄弟嫁に

我慢できず何度も

中出し

続け…

2

桐生真澄

Presented by masumi kiryu







はあ…

そーういえば最近
シてないなあ…

つてそーういえば
最後にシたのつて
いつだっけ…

—一年？
あれ…？

ん…？

え…なのに
…私と弟の拓海君と
ほったらかすの！
ありえなくない！

普通は旦那
として危機感
もつでしょっ

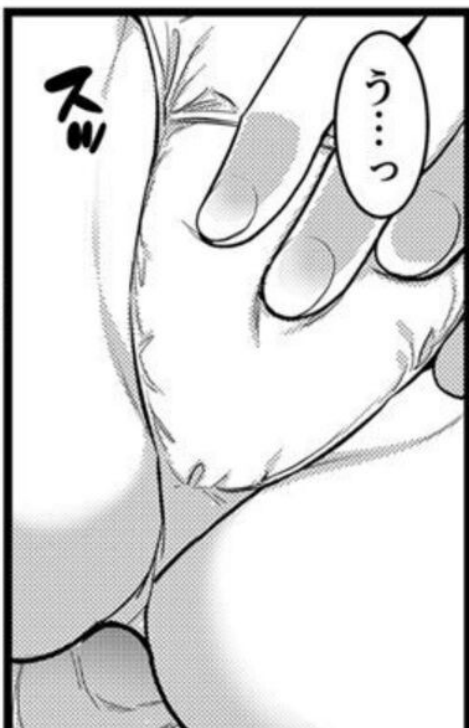
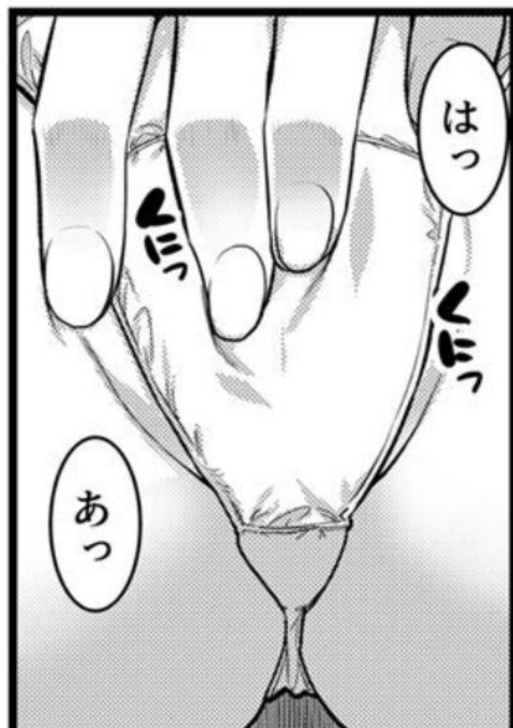
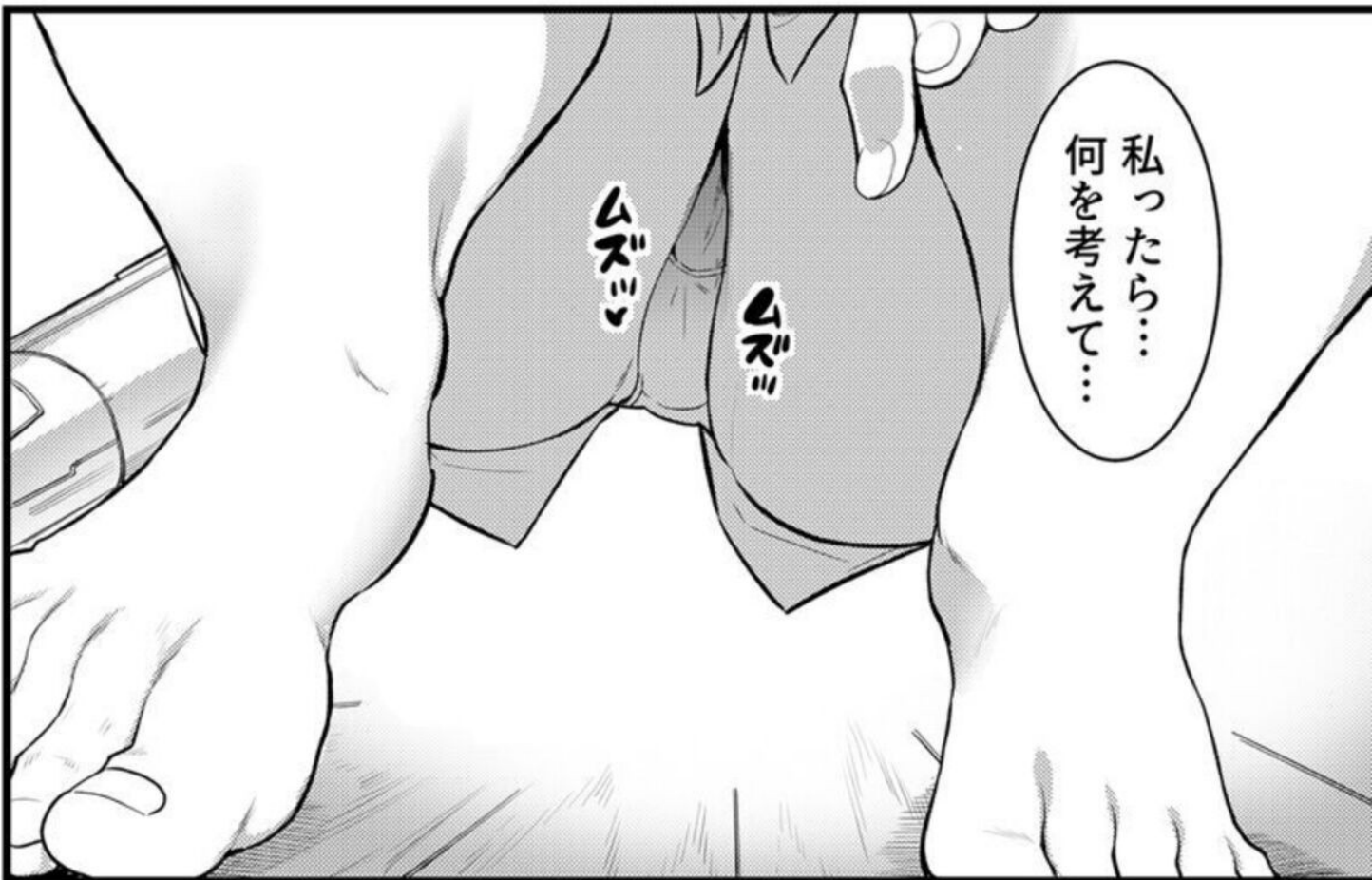
おせし…

ん…っ

こんな過激な事
したことないけど

実際どうなのかな…
気持ちいいのかな？
いやでもこれは
恥ずかしすぎるような

案外私達が
タンパクすぎる…とか？





普段こんな「ト」
しないのに...

今日は凄い
ムラムラしてる...

濡れ...てる?

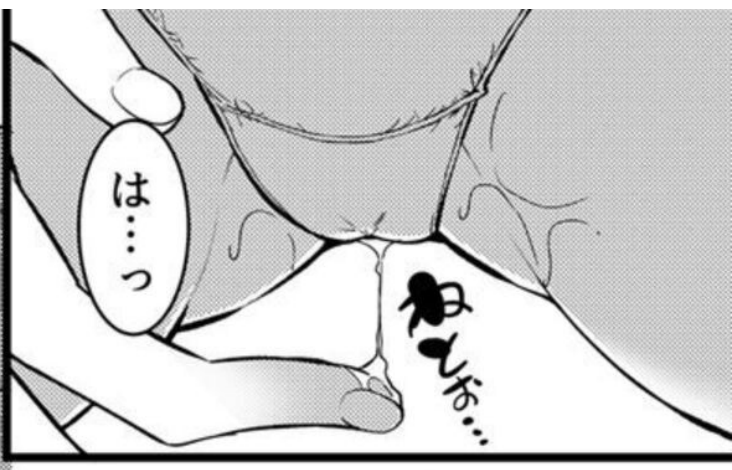
んっ

んっ

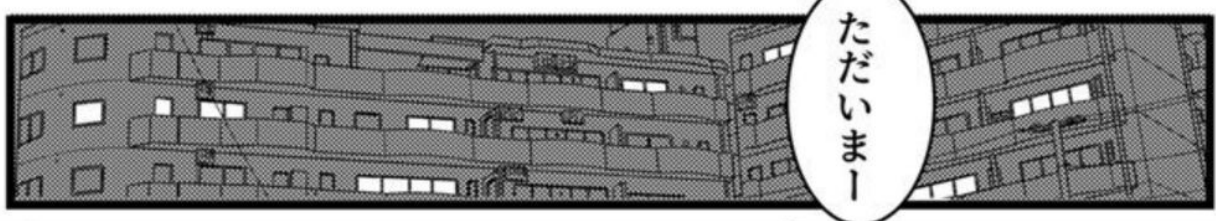
はっ

嘘お...っ
私ったらそんなに
たまってる...

あっ♡
あっ♡









うっす
ハラペコペコ
ですよー

ご飯できてるから
すぐ食べよっか♡



わお♡
お酒もっ



涼香さんが
本当に忘れてるか
確かめてやるぞ…っ



よかった…
これであとは
流れそのままで



やっぱ
昨日の涼香さんが
おかしかっただけじゃ
ないのか…これ



って…
飲むのおっつそ

あ…
そういうば

なっ
なんスカ

今日拓海君の
部屋の床を
掃除しててさ

人妻物のAV
見つけちゃったん
だけど

ああいうの好きなのは
個人の自由だけどね

急いで荷物を出すに
してももう少し
片付けて置くとか
出来たと思うの

勝手に掃除しようと
した私も悪いのかも
してないけどさ

ああく

やっぱ飲ませ
なきゃよかった

俺のせいさ

それよりさ

男の人って
あんな事が
好きな訳!?

答えづらっ





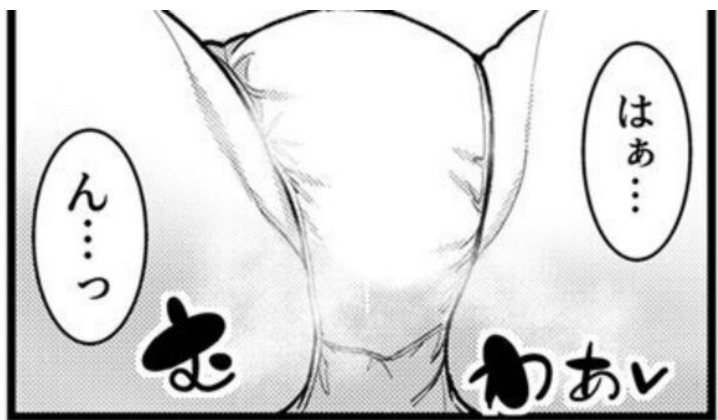


んっ

涼香さん？

あーっ

覚えてたら
飲まないよな



はあ…

んっ

わあ



そうだよな

ぐっ



やっぱり寝る
人だな…



んっ

んっ



は…あ

んっ

んっ



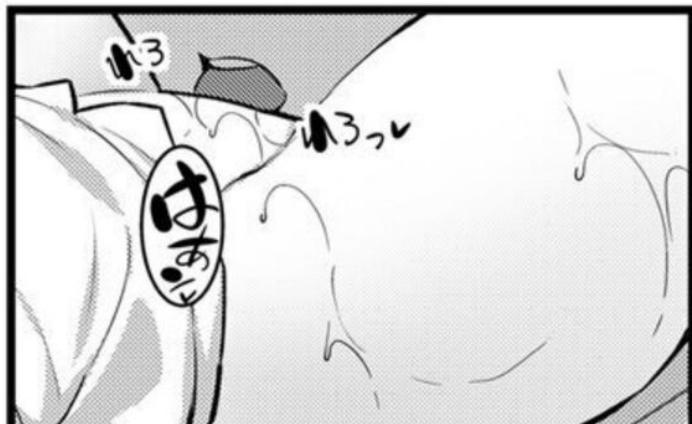
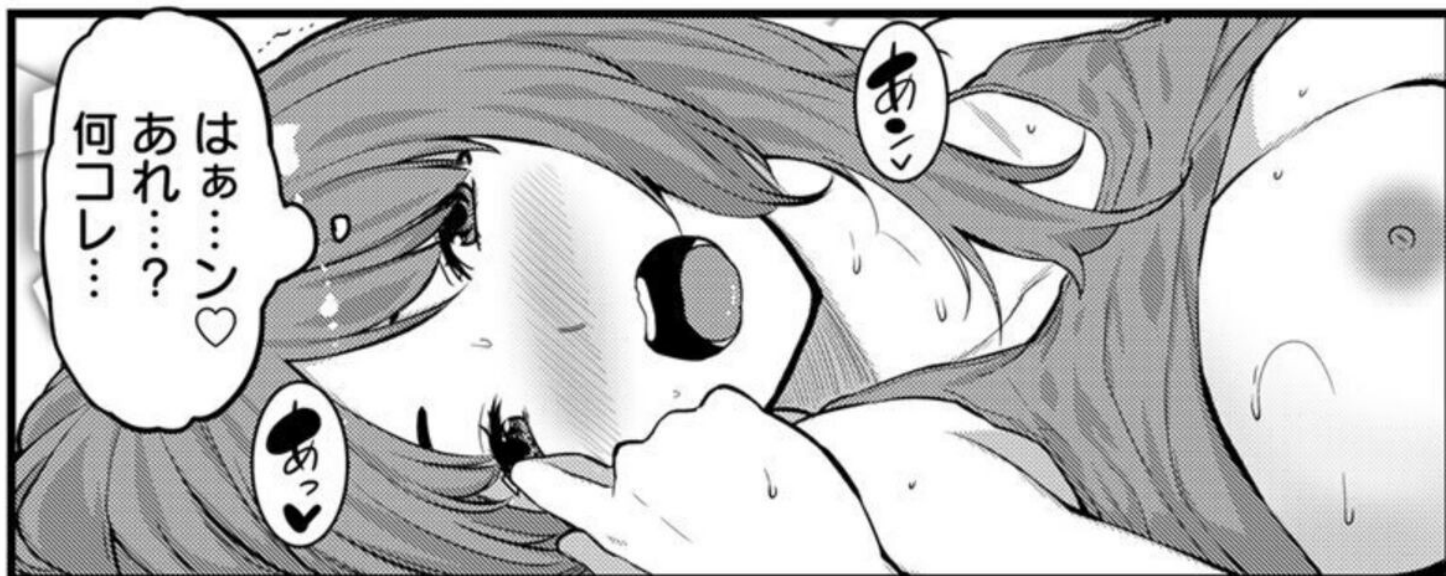
あっ♡

はっ♡

あっ♡

あーっ

これから
度々飲ませ
ば…っ







これなら
このまま…っ

いいよっ
涼香さん

だ…め
これ…え♡

ひっ♡

あッ

はっ♡

はっ♡

にっ♡

はっ♡

にっ♡

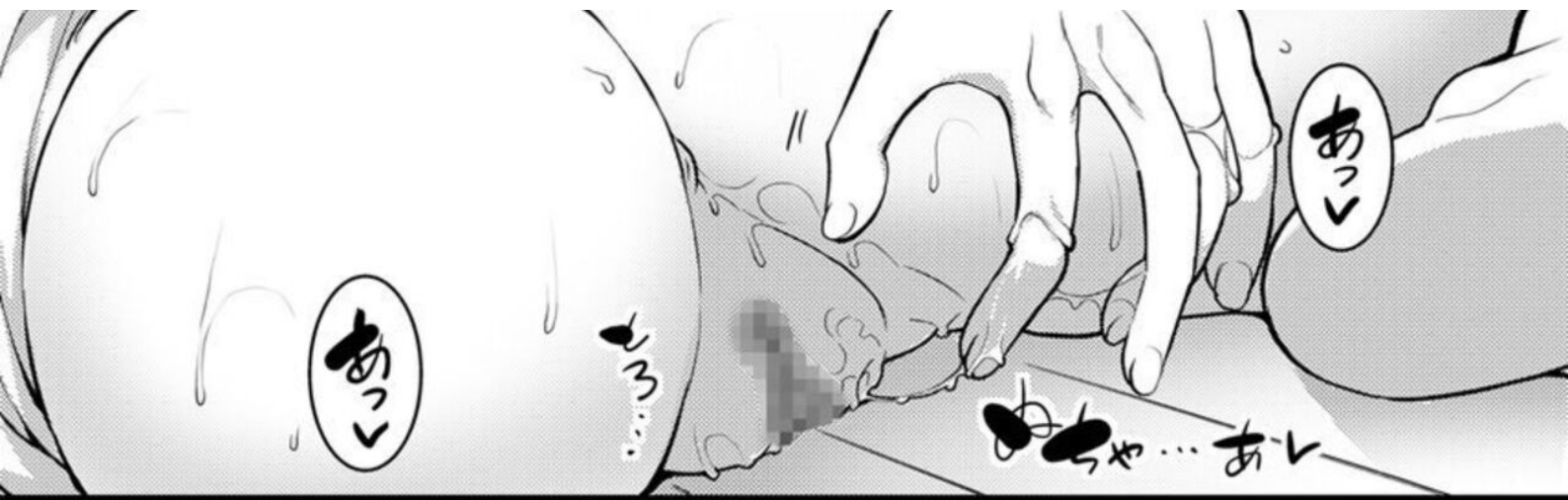
はっ♡

にっ♡

はっ♡

あッ

あッ





にすりクラブ

「人妻の色気ヤバッ…止まんね」
泥酔兄嫁に我慢できず何度も中で出し続け…

(2)

著者 桐生真澄

発行 FILL-IN

この物語はフィクションです。登場する人物・事件・団体・名称等は架空であり、実在のものとは一切関係ありません。

収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、発売当時のまま掲載しています。

本作品の一部あるいは全部を無断で複製・転載・配信・送信・放送・譲渡またはアップローダーサイトに掲載する事を禁止します。

本作品の使用につきましては、あらかじめ弊社宛に許諾をお求め下さい。